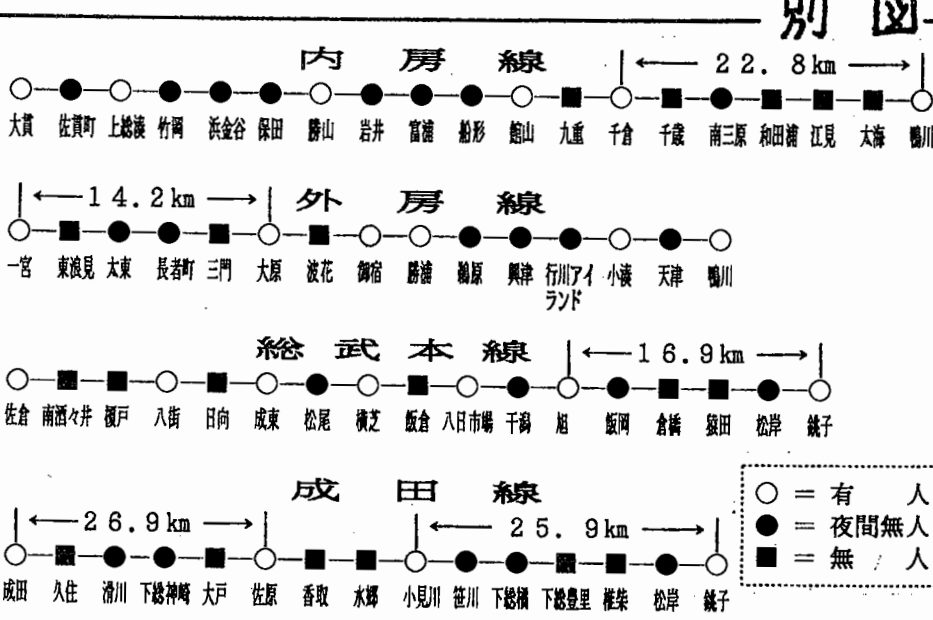




月刊 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合
〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番
93.3.25 No. 3764

最低限の運行システムを3・25・4・1 解体する駅夜間無人化に向けて



二月一八日、千葉支社は、「七〇〇圏以東の駅の夜間無人化」を強行した。

この大合理化によって千葉支社管内の実に六〇駅が無人駅ないし夜間無人駅となったのだ。しかも深刻なことは、夜間無人化によって運転士は、列車の乱れや事故が発生しても、連絡もまともには取れない不安と常に背中合わせのなか夜間運転に従事しなくてはならないのである。各線区での夜間無人化の最長距離は、以下のとおりである。

(別図参照)

▼内房線では、千倉～安房鴨川間、二二、八キロ

▼外房線では、

上総一宮～大原間、一四、二キロ

▼総武本線では、旭ヶ丘～銚子間、一六、九キロ

▼成田線では、成田～佐原間、二六、九キロ

(また、小見川～銚子間、二五、九キロとなった。)

なおかつ、館山～安房鴨川間(内房線)、鴨原～安房鴨川間(外房線)、成東～銚子(総武本線)、成田～銚子間(成田線)では列車無線さえ未だ導入されていないのである。

この間の団交のなかで当局は、動労千葉からの「信号方式の変更が発生した場合はどうするか。」「運転通告券は誰が発行するのか。」「という再三の指摘

について「異常時は駅社員の呼び出しを含め対策を取る」との全く不当な対応に終始した。

異常時に勤務外の者の緊急呼び出しに頼らざるを得ないという全くの綱渡りを行なおうというのだ。当局自ら「運転取り扱い上の最低限の運行システム」さえ切り捨ててしまったのである。

現在でも、危機に瀕している異常時の対応能力がより一層深刻なものとなったのである。

JR九州では、駅を無人化したことによって、駅舎が荒れ、非行少年のたまり場となつてし

またたことに對し、住民地域住民の要望によって来年度から有人化を進める。

JR東では、「地域密着」などいいながら、それとは全く逆行することを、安全をも無視して、ただただ人減らしのための合理化を強行しているのである。

三・二五第二波ストー四・一第三波ストを反合・運転保安確立の闘いとしてきつちり位置付け、JRの安全無視を許さない闘いを粘り強く展開しよう！

原因不明の脱線続発 軽量化車両は危険

3/19(金) 読売新聞

レールや信号、運転操作などに問題がないのに、ポイントで脱線する原因不明の事故が、JRで頻発している。危険限度にまでは達しない様々な悪条件が重なった「脱線脱線」と見られ、JR東日本は、軽量化・高速化などに対応した車体の変化が、新たな競合要因を生んだ可能性があるとして、二二三日から実際の電車を使った異例の再現実験を行い、脱線メカニズムの究明に乗り出す。

最近起きた主なポイント脱線事故は、①昨年七月、山陽本線網干駅(兵庫)②今年一月三十日、神戸線神戸駅(同)③三月十一日、

京浜東北線蒲田駅(東京)④同二十日、高崎線籠原駅(埼玉)など。

神戸駅の事故では、快速電車の三両目が二番という種類のポイント(制限速度四十五キロ)で脱線、乗客がけがをした。それ以外の三件は、電車区から本線に出る所にある八番ポイント(制限速度二十五キロ)での事故で、脱線したのはいずれも前から三、四両目。四件とも、信号、レール、運転速度などは正常だった。

JR東日本によると、蒲田駅構内での脱線事故の場合、車両とポイントに分けて原因調査が行われた。その結果、車両は新品同様に

削り直す作業を昨年十月五日に行ったばかりで、すり減り方に異常はなかった。

一方、ポイント側ではレールの摩耗度や、可動側レール(トンゲレール)と直線部のレール(基本レール)のかみ合わせが調査の焦点になった。

このうち摩耗度はそれぞれ〇・五ミリと一ミリで、いずれも交換基準(十四ミリ)を大幅に下回っていた。しかも、トンゲレールは昨年十二月に交換済み、基本レールの方は事故の翌日に交換が予定されてお

り、こうしたことから、両方のレールに生じた段差に車輪が乗り上げて脱線したと、同社では一応の結論を出したという。

だが、なぜ編成の途中の車両が突然脱線したのかはなぞのまま。しかも、籠原駅などのケースでは、ポイントの摩耗度は問題にならないほどよかった。

そこで浮上したのが、車両の軽量化の影響。蒲田の事故では、ブレーキの利き具合が各車両で微妙にずれ、モーターなしの軽い車両が前後の車両に押されて持ち上がったと脱線したのではないかと見られている。また台車も、最近のスピード化で高速用に調整されており、カーブに对应しにくくなっていることも、原因の一つではないかと見られている。

JRで続発「競合脱線」

軽量化、高速化など要因?

再現実験で解明へ